

リアルタイム現地情報

県農業経営士協会鹿行支部と千葉県指導農業士3支部が交流を再開

11月11日（金）、茨城県農業経営士協会鹿行支部主催による千葉県香取郡市指導農業士会・海匝地区指導農業士会・千葉県指導農業士会山武支部との交流会が63名の参加のもと盛大に開催されました。この交流会は、平成30年に台風15号の影響で中止して以来4年ぶりの開催となりました。

午前中は、JA なめがたしおさい波崎青販部会のピーマン選果場を見学しました。千葉県の皆さんは、興味深い様子で農協職員から説明を受けていました。

午後は、会場を市内のホテルに移し、各支部が事例発表を行いました。鹿行支部からはピーマン経営におけるコスト削減の取り組み、千葉県の3支部からは水稲経営を6次産業化で発展させてきた事例、赤ピーマンのブランド化の取り組み、新品目導入など自由な発想と創意工夫により経営発展を目指す事例が発表され、どの発表に対しても会場から盛んに質問が出されていました。

また、各支部の最近の活動報告も行われ、参加者は久しぶりの交流で親睦を深めた様子でした。

普及センターでは、今後も鹿行支部の活動を支援してまいります。

銚田地域農業改良普及センター



